

テーマ『地域でかかわる生活支援 食について』

- ①食べることに関わるためにどの職種がどんなことをしているか？
- ②食べることにに関してどんな困りごとがあるか？
- ③どんな場合に連携が必要か？
- ④いま連携しやすい職種は？
- ⑤いま連携しにくい職種は？

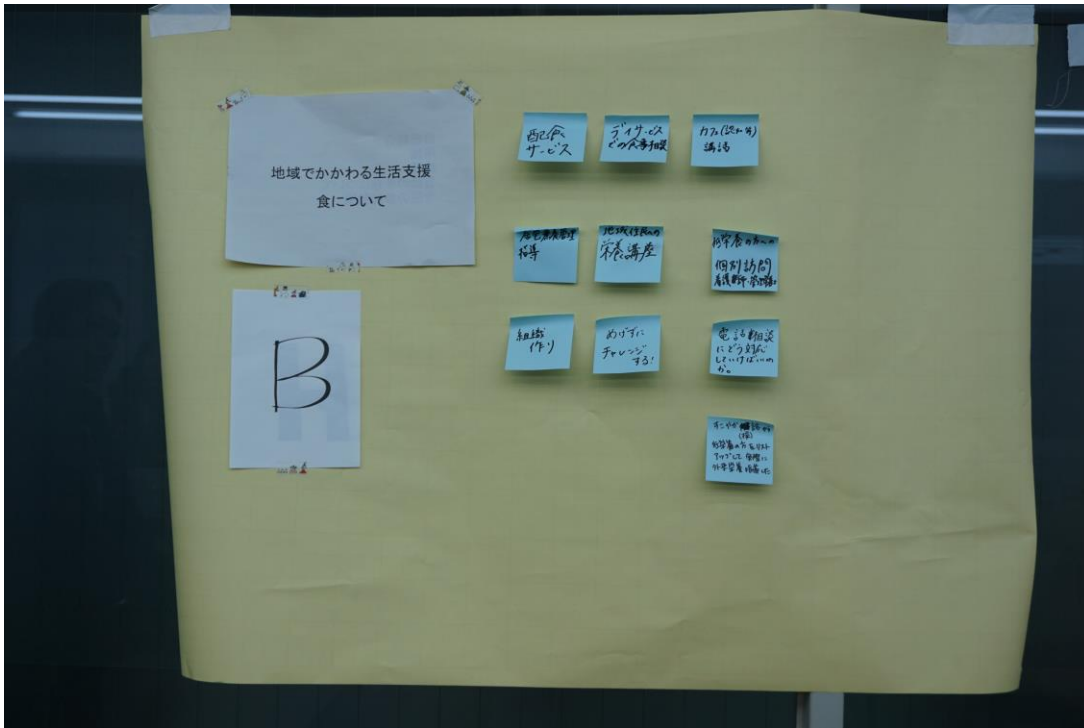
Aグループ

- 食：関わられたくない（信頼関係）
- 自宅訪問なので需要がない→必ず問題はある
- 食事内容（嚥下・咀嚼困難）を多職種に伝わるようにしている
- 独居など補助食品は次の手、経済的な面
- 病院に関わっていないフレイル、低栄養、認知症などのかかわり方
- 退院してどこまで家でできるか確認してメイバランスなどをすすめる
- 自分の家で死にたいという人は多い

A グループ

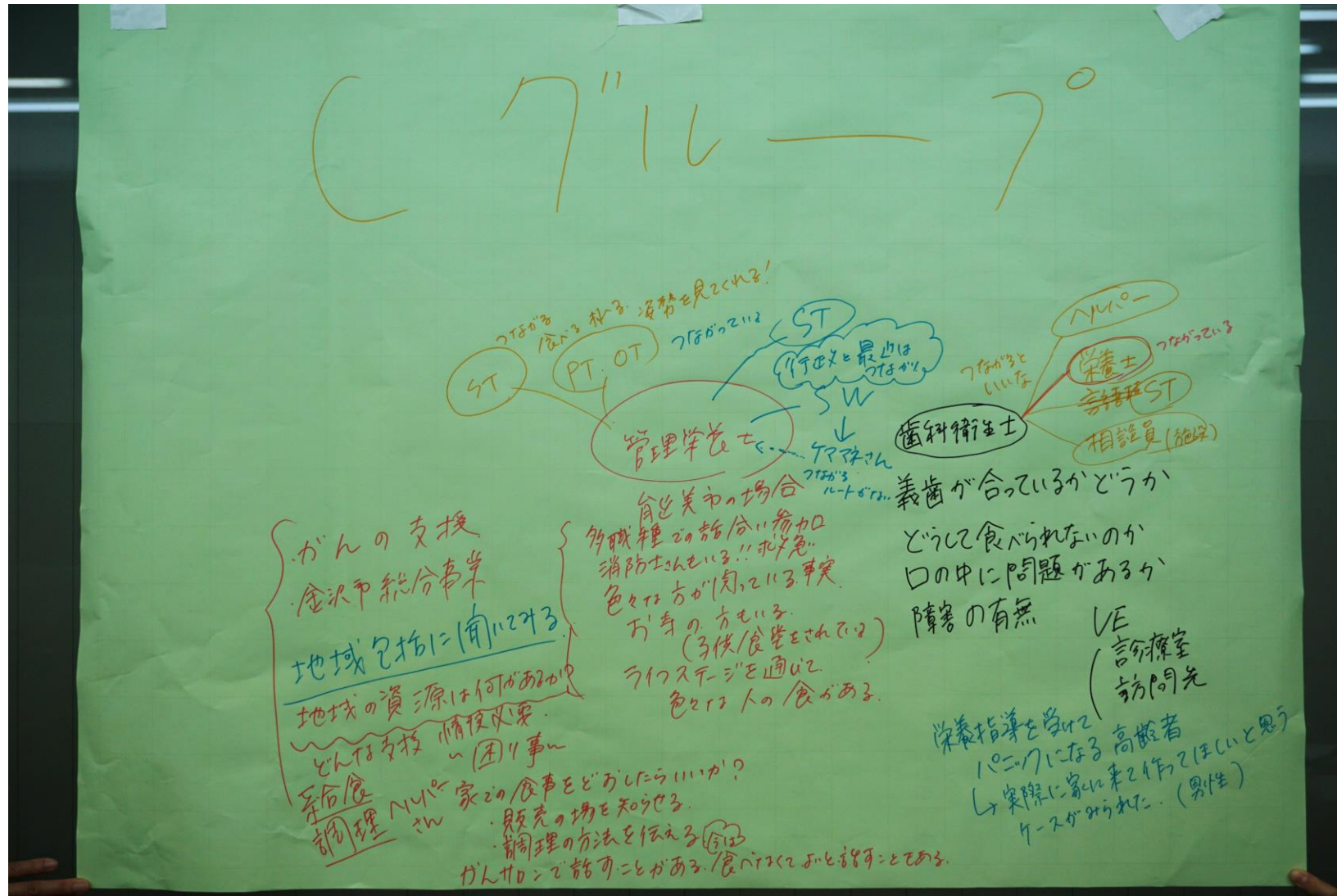
- 病院はブラックボックス
- 地域栄養ケアステーションがあると良い
→地域へつなぐところがあると良い
- ラコールに依存し過ぎている
- 病院と在宅の間の状態を実感した
- 繰り返しの方 入院⇔外来でフォロー
- 栄養士とどこへ行けば話せるのか？

Bグループ

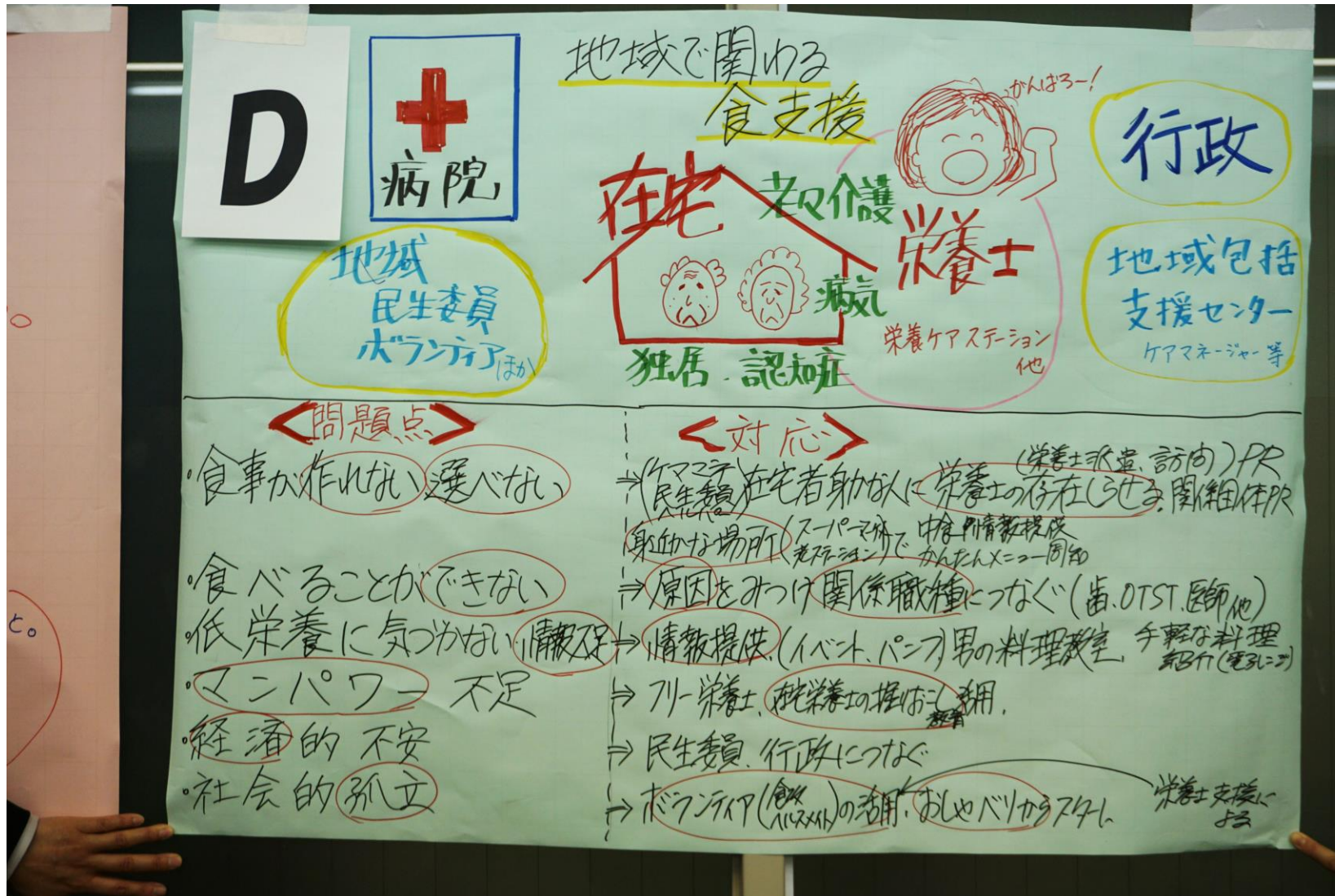


- 配食サービス
- デイサービスでの食事相談
- カフェ（認知症）での講話
- 居宅療養管理指導
- 地域住民への栄養講座
- 低栄養の方への個別訪問
- 組織作り
- めげずにチャレンジする
- 電話相談にどう対応していけば良いか
- すこやか検診から低栄養の方をリストアップして実際に外来栄養指導を行った。

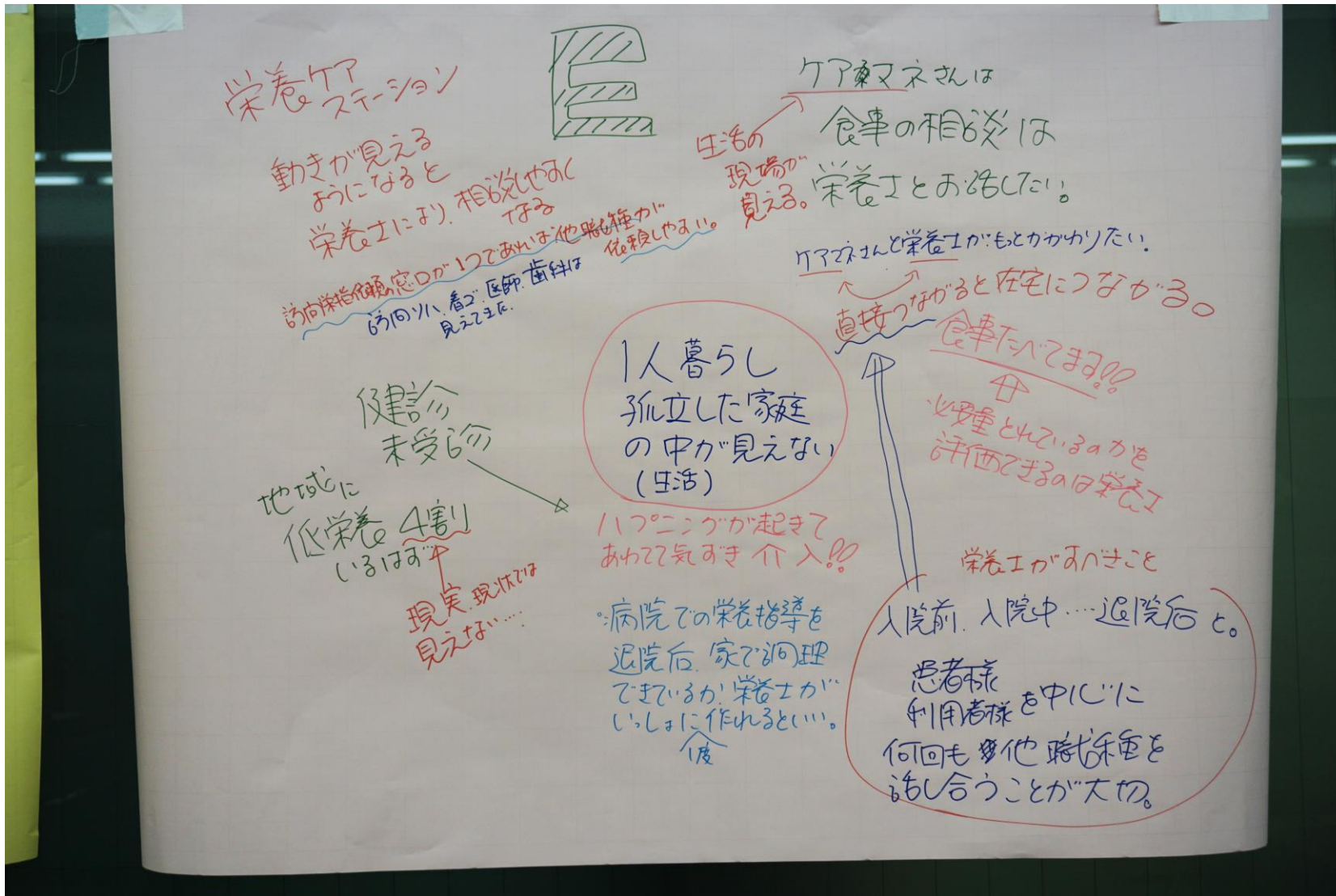
Cグループ



Dグループ



Eグループ



Fグループ



Fグループ

- ・地域に求められる栄養士に何が必要かともに考える
 - ・認知症カフェなどに出ていく
 - ・地域は栄養士とどうつなげれば良いかわからない
 - ・退院カンファレンスに参加する
 - ・栄養士さんの業務についてケアマネさんに広くPRする
 - ・いろんな場で栄養士さんの視点を入れる工夫
→栄養士の視点が必要と思う人が少ない現状
 - ・食事は身近なものなので栄養の話は興味あることと思う。
 - ・退院前は元気、退院後は食べなくなった、、、栄養士の視点が求められると思うが、どこへ求めたら良いかわからない。
- ②・サロンなどに栄養の話をする
 - ・同じ食材ばかりを購入する方への調理のアドバイス(単調な献立にひと工夫するアイデア)
 - ・保健師と訪問する
 - ・限られた食材で作るアレンジ料理
→保健師さんが栄養士にしてほしいこと
 - ③・ショートステイの方が栄養状態が悪い場合ケアマネに繋げていけば良いか
 - ・金銭面の問題は多職種とともに考えると良い
 - ・退院時カンファレンスに栄養士ももっと参加
 - ④・ケアマネ
 - ・在宅での生活に寄り添った栄養アドバイスが欲しい
 - ⑤・チョイスできる栄養士のはず？
 - ・だけど連携できない栄養士？

Gグループ

Gグループ⁰

現在、重症化予防のための関わり
・特定健診の指導
・地域サロンの講座
・健康寿命の延伸のための料理教室

- ① 運動指導士(運動)(食事)
薬剤師(食事)
看護師・保健師(食事)
歯科衛生士(食事)(口腔ケア)
- ② 買い物 食品選び 調理
- ③ 栄養士の連携から地域の連携
(地域包括センター)
- ④ 看護師、ケアマネ、歯科医師、歯科衛生士
社会福祉協議会
- ⑤ 医師、行政